

環境に優しい設備や車の購入に補助金を交付

環境課 ☎(235)4912



環境に配慮した設備の設置や自動車の購入に対し補助金を交付します。設置工事着手(車の場合は新規登録)の2週間前までに環境課へ申請してください。詳細は、環境課へ問い合わせ、または市ホームページをご覧ください。

期 4月1日(水)～令和3年2月26日(金)(予算額に達し次第終了)

案 要件を全て満たすこと

- 市内の自宅・事業所に設置・導入
- 新規の設備・車両
- 市税などの滞納がない

● 令和3年3月31日(水)までに設置・導入し、完了報告ができる

対象	補助額
太陽光発電施設	2万円/kW (上限20万円)
定置用リチウムイオン蓄電池	7万円
エネファーム (家庭用燃料電池コージェネレーションシステム)	6万円
HEMS(住宅用エネルギー管理システム)	1万円
電気自動車	15万円
燃料電池自動車	40万円
スマートハウス加算 ①太陽光発電施設②HEMS③蓄電池またはエネファームを同時に申請・設置することが条件	+ 2万円

「令和元年度土砂災害防止に関する絵画」優秀賞(事務次官賞)を受賞

下水道課 ☎(235)9618

全国の小・中学生を対象とした国土交通省主催の「令和元年度土砂災害防止に関する絵画」小学生の部で、上星小4年(受賞時)の市川千陽さんが、優秀賞にあたる国土交通事務次官賞を受賞しました。



▲小学生の部優秀賞
市川千陽さんの作品

EBI-LOG
エビ・ログ

こんなことがありました

コースターで若者定住促進事業をPR

若者定住促進事業をPRするため、3万5,000枚のコースターを市内の飲食店に配布しました。コースターの二次元コードを読み込むと市ホームページの事業紹介ページを見ることができます。



児童の運動不足解消へ臨時休業中の校庭を開放

新型コロナウイルス対策の一環で臨時休業中の児童の運動不足解消やリフレッシュのため、市内全小学校の校庭を開放しました。限られた時間の中、元気にのびのびと遊ぶ子どもたちの姿が見られました。



「駅」「史跡」「公園」「暮らし」などから、海老名の「あの時」「あの場所」を写真でつづります。



第14回
伝承



|| 昭和32(1957)～34(1959)年頃 ||



県道407号から撮影

鈴木三太夫霊堂

「農民をかばって義民三太夫」。市の郷土かるたで詠まれ、擬木柱が建てられている。鈴木三太夫は、大谷地域で語り継がれる330年ほど前に起こった事件の主人公だ。江戸幕府の重い年貢に苦しむ農民に代わり、軽減の直訴を企てたことから処刑された。この事件は古文書もなく、口伝だけで人々の心に刻み込まれている。

昭和13(1938)年頃徳徳建立。27(1952)年霊堂完成。正面の九里の土手、背後の田園は今も面影を残す。

|| 現在 ||



海老名市都市間交流協会を募集

海老名市都市間交流協会事務局(市民活動推進課内)
☎(235)4794

海老名市都市間交流協会は、姉妹都市の宮城県白石市・北海道登別市、災害協定都市との交流の窓口として、さまざまな事業を行っています。

会員には、「えびな市民まつり」の姉妹都市特産品販売ブースで使えるクーポン券の配布や、市民視察の参加資格、提携旅館泊補助などの特典があります。詳細は、同協会事務局へ問い合わせまたは市ホームページをご覧ください。

入会方法 申込書と会費を直接海老名市都市間交流協会事務局またはえびなにゃハウスへ。申込書は、同協会事務局で配布または市ホームページからダウンロードできます。

令和2年度海老名市都市間交流協会通常総会

海老名市都市間交流協会会員を対象にした総会です。ぜひご出席ください。4月17日(金)10時30分から場内役所703会議室

会員区分と年会費

区分	個人会員		団体会員(10人以上)	
	市内	市外	一般	法人
区分	市内在住・在勤・在学の方	左記以外の方	教育・文化・スポーツ・福祉などの公共的活動を行う団体	市内に事務所などの拠点を置く法人
年会費	2,000円 ※中学生以下は無料	3,000円 ※中学生以下は2,000円	1万円	3万円
注意事項	会員の区分により特典が異なります			